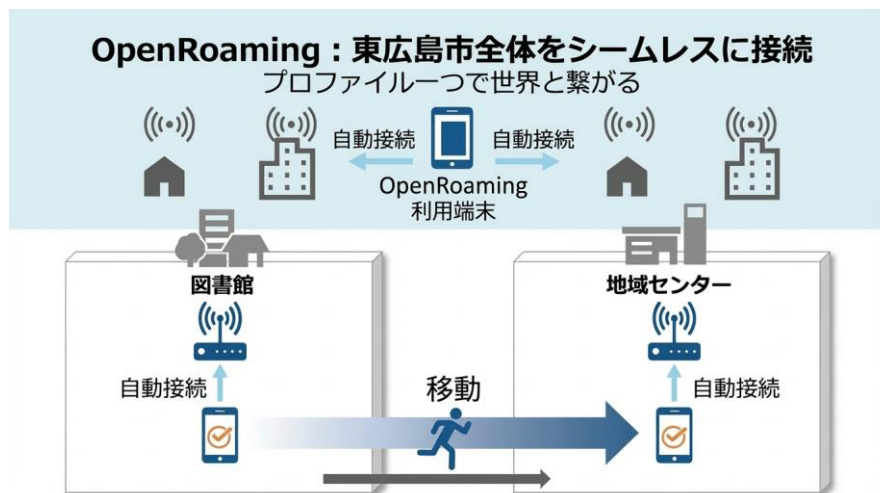


## ネットワンシステムズ、東広島市に庁内・公衆無線 LAN を一元管理する 次世代ネットワーク基盤を構築 ～340 台・62 拠点を統合し、OpenRoaming 対応と自治体主体の eduroam 提供を可能に～

ネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：竹下 隆史）は、東広島市において、庁内LANと公衆無線LANを統合管理するクラウド型次世代ネットワーク基盤を構築しました。市内62拠点に計340台のアクセスポイントを展開し、OpenRoaming（オープンローミング）や、主に大学・研究機関で利用されているeduroam（エデュローム）といった国際的な無線LAN基盤に対応。2026年1月より正式運用を開始しています。

本取り組みにより、市民や学生、来訪者が安心して利用できる公衆無線LAN環境と、自治体職員が効率的に管理できるネットワーク環境を同時に実現しました。



### ■ 背景

多くの大学や研究機関を抱える学術都市として発展してきた東広島市では、市民や学生が街中で利用できる無線インフラの整備を積極的に進めてきました。一方で、これまでは利用のたびに認証手続きが必要となるなど、市民や来訪者にとって手間がかかり、本来期待されていた利便性を十分に発揮できていない状況でした。また、庁内 LAN と公衆無線 LAN が別々に管理されていたことで自治体職員の運用負担も大きくなっていました。こうした課題を解消し、誰もが安全・快適に活用できるネットワーク環境を実現するため、市では「利便性の高い無線環境の整備」「セキュリティ強化」「運用効率化」「将来的な拡張性の確保」を同時に実現する次世代基盤の整備を進める運びとなりました。

## ■ 概要

### ・ クラウド型統合基盤を採用、三層分離を維持

今回構築したネットワーク基盤は、クラウド型コントローラを採用し、クラウド利用の増加に対応できる帯域と柔軟な拡張性を確保しています。自治体ガイドラインに沿った三層分離の構成を継続し、既存設備を活用することで移行時のコストとリスクを抑制しました。本基盤の構築は2025年9月～12月にかけて実施され、2026年1月より正式に公衆無線LANサービスの提供を開始し、現在は市内の主要施設において安定稼働しています。

### ・ アクセスポイント 340 台・62 拠点を統合、庁内 LAN と公衆無線 LAN を一元管理

公衆無線LANは多層的なセキュリティ機能を備えており、市民・学生・来訪者が安心して利用できる環境を提供します。アクセスポイントは、庁内LAN用195台、公衆無線LAN用145台、計340台を市内62拠点に展開し、街全体で安定した無線接続を実現しています。また、アクセスポイント単体でもサービスを継続できる設計や、庁内LANと公衆無線LANを一元管理できる運用基盤の導入により、障害発生時の影響を抑えるとともに、担当者の管理負荷を軽減しています。

### ・ OpenRoaming 導入で市内をシームレス接続

本基盤では、市内のあらゆる施設をシームレスにつなぐ「OpenRoaming」を導入しました。利用者は一度の認証で、国や施設をまたいでも、対応しているアクセスポイントであれば再接続の手間なく利用できます。これにより、観光客や外国人利用者を含めた利便性向上に寄与します。運用にあたっては、エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社が提供する「Japan Wi-Fi 認証サービス」を活用し、利用者が OpenRoaming に接続可能な環境を整備することで、OpenRoaming 対応に伴う負担の軽減を図っています。

### ・ 国内初：自治体主体で eduroam を提供

大学等で広く利用されている国際的な学術認証基盤 eduroam と連携し、学生・教職員が学内外を問わず安全に接続できる環境を整備しました。自治体が自ら eduroam に申請し、サービスプロバイダーとして運用するのは国内初（2026年2月時点）であり、学術都市としての東広島市の価値向上に寄与する先進的な取り組みとなります。

## ■ 新基盤により期待される効果

公衆無線LANの利便性が向上することで、東広島市は観光客や外国人利用者も含め、誰もが安全に学び、つながり、助け合える街への変革が期待されます。

### ・ 市民サービスの向上と利便性の拡大

街中のどこからでも快適につながる環境が整備され、市民・学生・観光客がストレスなく公衆無線LANを利用可能になります。特に OpenRoaming により再認証なしで利用できることで、来訪者の回遊性や滞在満足度の向上が見込まれます。

### ・ 運用管理の効率化とコスト最適化

庁内・公衆無線 LAN の統合管理により、運用担当者は直感的に全体を把握でき、障害箇所の特定や復旧対応を迅速に行うことができます。クラウド型コントローラの採用により将来拡張のコストも抑制でき、長期的な運用最適化につながります。

#### ・ 都市のデジタル基盤強化

国際対応力を備えた無線インフラの整備により、留学生・外国人利用者を含む多様なユーザーに対応する接続環境を実現。デジタル都市としての競争力向上にも寄与します。

### ■ 今後の展開

ネットワンシステムズは、本取り組みで培った公衆無線 LAN における認証基盤やネットワーク運用の知見を活かし、引き続き全国の自治体・教育機関・公共インフラに向けて、誰もが安心して利用できるネットワーク環境の実現を支援してまいります。ゼロトラストやクラウド活用、データ連携基盤の整備など、社会全体が進むデジタル化に対応した持続可能な ICT インフラの提供を通じて、地域の価値向上と未来のまちづくりに貢献していきます。

### ■ 東広島市 DX 推進担当部長 橋本 光太郎様のコメント

今回のネットワーク基盤の刷新により、市民や学生、そして来訪者の皆さまが、これまで以上に安心して無線ネットワークを利用できる環境が整いました。これにより、公共施設における通信環境が安定し、行政サービスの利用をはじめ、イベントでの活用や自己学習など、さまざまな場面でいっそう便利にご活用いただけるようになります。

また、国内外から多くの方が訪れる本市にとって、信頼性の高い通信環境は、地域の活性化や国際交流を進めるうえでも重要な基盤となります。今後、この新しい通信環境を活かし、市民の皆さまの暮らしや学びが、さらに豊かに広がっていくことを期待しています。

### ネットワンシステムズ株式会社について

ネットワンシステムズ株式会社は、優れた技術力と価値を見極める能力を持ち合わせる ICT の目利き集団として、その利活用を通じ、社会価値と経済価値を創出するサービスを提供することで持続可能な社会への貢献に取り組む企業です。常に世界の最先端技術動向を見極め、その組み合わせを検証して具現化するとともに、自社内で実践することで利活用ノウハウも併せてお届けしています。

[ネットワンシステムズ | HomePage \(netone.co.jp\)](https://netone.co.jp)

※ 記載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です

### <本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ネットワンシステムズ株式会社 広報チーム：柏木、風間、今泉

E-mail：[media@netone.co.jp](mailto:media@netone.co.jp)